

荏原 畠山美術館 新館開館一周年記念

「数寄者」の現代

—— 即翁と杉本博司、その伝統と創造



重要文化財 清龍権現像(部分) 鎌倉時代 当館蔵 [後期展示]

2025年10月4日|土|–12月14日|日|

※会期中、一部展示替えあり

前期: 10月4日|土|–11月9日|日| 後期: 11月12日|水|–12月14日|日|

会場: 荏原 畠山美術館 本館2階展示室、新館展示室1・2・3

開館時間: 10:00–16:30 (入館は閉館30分前まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合は開館、翌日が休館) ただし11月11日(火・展示替え日)は休館

入館料: 一般1,500円 学生(高校生以上)1,000円

※オンラインチケット割引あり ※中学生以下は無料(保護者の同伴が必要)

主催: 荏原 畠山美術館 特別協力: 公益財団法人小田原文化財団



EBARA HATAKEYAMA
MUSEUM OF ART

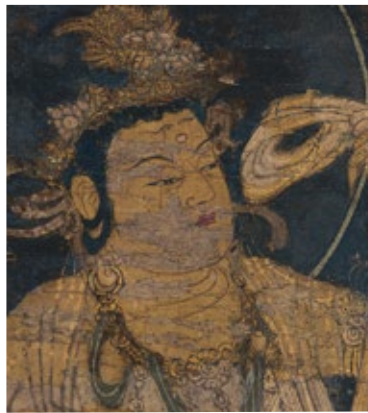
荏原 畠山美術館

「数寄者」の現代

——即翁と杉本博司、その伝統と創造

当館コレクションと現代美術作家 杉本博司の作品およびそのコレクションで構成する本展は、日本の文化と美術を換骨奪胎し、その中に新しい光を差し入れる、そのような杉本博司の新作を含めた作品と当館のコレクションとのセッションをととして、数寄の精神と茶の美とは何か？を問う試みになります。

新館の基本設計を担当した新素材研究所を主宰する杉本博司が、その設計空間の趣旨を生かし、新空間に相応しい新作品およびそのコレクションを世界の美術館関係者および美術愛好者に向けて発信する機会となることも期待しています。当館の創設者 即翁 畠山一清は近代数寄者の最後世代にあたり、晩年には自身の茶道具コレクションを皆とともに最高の状態で鑑賞する「場」にこだわり、当美術館の本館を構想しました。そこに貫かれた姿勢や込められた想いと、現代の「数寄者」とも呼ぶべき杉本博司の芸術をととして数寄の在りかを探る機会にしたいと思います。



1

2

3

現代に「数寄」は可能か？

杉本博司

その昔、利休の頃、茶室は囲うと言われた。造るのではない。簡素な材で場を囲い、雨露を凌ぐ屋根を架ける、侘び茶の精神だ。私はこの荏原 畠山美術館新館を、設計者として大きなコンクリートの壁で囲った。現代の茶室と思いなして。この囲いの中で私の集め、また作った茶道具を披露することになった。こんな作家冥利に尽きることはない。自画自賛だ。

【杉本博司】

(1948～)東京生まれ。現代美術作家。ニューヨークと東京を活動の拠点とする。活動分野は写真、彫刻、建築、演劇、執筆、書、陶芸、和歌、料理と多岐に及ぶ。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ受勲、2017年文化功労者、2023年日本芸術院会員に選出。

【即翁 畠山一清】

(1881～1971)金沢市生まれ。能登畠山氏の後裔で先祖は七尾城主。ポンプ販売から製造を一手に担う荏原製作所を創業して発展させた実業家。一方で能楽と茶の湯を嗜み、即翁の号を持つ数寄者としても知られる。数多くの美術品を蒐集し、晩年には広く一般に公開することを意図して畠山記念館を設立した。

展示構成

I: 「数寄者」の現代I——即翁 畠山一清の茶事風流 [本館2階展示室]

即翁が1954年秋に催した新築披きの茶会の道具組を軸に当館コレクションで構成。

II: 「数寄者」の現代II——杉本博司 茶道具 [新館展示室1(2階)・2・3(B1階)]

杉本博司の作品およびコレクションで構成。

関連イベント

1 鼎談「数寄者、誇々斎と語る」

出演: 杉本博司氏、内田鋼一氏(陶芸家)、

千宗屋氏(武者小路千家第15代家元後嗣)

進行: 水田至摩子(当館学芸課長)

10月11日(土) 14:00～15:30

定員: 70名 参加費: 無料(要入館料)

2 講演会「新生 荏原 畠山美術館、

デザインとその設計手法」

講師: 樺田倫之氏(建築家・新素材研究所)

11月8日(土) 14:00～15:30

定員: 70名 参加費: 無料(要入館料)

3 講演会「杉本博司さんと佐賀町エキジビット・スペース」

講師: 小池一子氏(クリエイティブ・ディレクター／

佐賀町アーカイブ主宰)

11月29日(土) 14:00～15:30

定員: 70名 参加費: 無料(要入館料)

4 鑑賞会(本展のみどころを紹介いたします)

第1回目: 10月4日(土) 講師: 岡部昌幸(当館館長)

第2回目: 12月6日(土) 講師: 水田至摩子(当館学芸課長)

各回とも10:30～11:30

会場: 荏原 畠山美術館 新館1階多目的室

定員: 各回70名

参加費: 無料(要入館料)

※事前申込制。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

その他のイベントを開催する場合もウェブサイトでご案内します。

※事前申込不要の学芸員によるミニトークを開催いたします。

詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

【お知らせ】

当日券の購入およびショップ・カフェでのお支払いは

「キャッシュレス決済のみ」となります。ご利用可能な決済方法は、

クレジットカード・交通系ICカード・電子マネー・QRコードとなります。



1: 重要文化財 割高台茶碗 朝鮮時代 当館蔵 2: 十一面観音立像(部分) 平安時代 Photo: Masatomo Moriyama
3: 二十五菩薩来迎図(部分) 鎌倉時代 Photo: Masatomo Moriyama 4: 荏原 畠山美術館本館展示室



アクセス:
都営浅草線「高輪台」駅下車A2出口左手交番を左折徒歩5分 東京メトロ南北線・都営三田線「白台」駅下車1番出口右手コンビニを右折徒歩10分
※一般来館者専用の駐車場(輪)場はございません。公共交通機関をご利用ください。
なお車いす用駐車場(1台)は、事前に予約された方の専用駐車場です。予約方法は当館のウェブサイトでご確認ください。

